

事務事業マネジメントシート (21年度実績と22年度計画)

22年度予算確定後 平成 22 年 5 月 20 日 作成
 21年度決算把握後 平成 22 年 5 月 20 日 作成

事務事業名		文化祭参画事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	教育委員会事務局	課長名	高木敏明
	施策	20	生涯学習の推進			所属課	生涯学習課	担当者名	水野隆文
	基本事業	68	学習・スポーツの参加機会の提供			所属班	生涯学習班	(内線)	1503
予算科目		会計	款	項	目	事業連番	法令根拠	成果優先度評価結果	5
		1	10	5	6	10799		コスト削減優先度評価結果	9
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 21年度で終了 <input type="checkbox"/> 22年度から開始		事業期間		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H7 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)			

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細、期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	文化協会主催による文化祭の啓発チラシの作成、配布及び展示会場の設営を行う。旧合志町では、文化協会の活動及び共催事業としチラシの作成・会場設営を行い、生涯学習行事も連携して行っていた。(旧西合志町では、会場設営協力のみ)合併後、旧合志町の手法を継続する方法をとった。
【業務の流れ】	選定した業者に業務委託し、会場設営を行う。
【主な予算費目】	13 委託料
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	旧西合志の方から会場が遠いという意見があった。

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	
① 手段(主な活動) 21年度実績(21年度に行った主な活動)(DO) 文化フェスティバルの開催支援(啓発チラシの作成及び配布・展示会場の設営)を行なった。21年度は菊池恵楓園からの作品展示も行なった。	22年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 21年度同様に文化祭の展示会場の設営委託と啓発チラシの作成を行なう。また、例年行なっている文化協会主催コンサートも22年度は文化祭の一環と位置づけ行なう。
④活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 ⇒ア 開催数	(単位) 回 イ
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 文化協会(会員)及び市民	⑤対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 ⇒ア 市民 人 イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 会員の活動成果の場とし、市民に文化芸術活動に興味を持ってもらう。	⑥成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 ⇒ア 来場した人数 人 イ 成果を発表した団体数 団体
*⑥成果指標設定の理由と平成22年度目標値設定の根拠 市の文化振興を目的とし開催するため、参加団体と来場者を指標として設定した。目標値については、各団体の構成員の高齢化等を考慮し、現状維持をすることを目標とする。	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	19年度 実績(決算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	21年度 実績(決算)	22年度 目標(当初予算)	23年度 予定	24年度 見込
④ 活動指標	ア	回	1	1	1	1	1	1	1
	イ								
⑤ 対象指標	ア	人	53909	54518	55124	54856	55500	56000	56500
	イ								
⑥ 成果指標	ア	人	2000	2000	2000	2000	2000	2000	2000
	イ	団体	150	150	150	141	150	150	150
投資 入 量	事業 内 訳	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		繰入金	千円						
		一般財源	千円	1,698	1,273	1,975	1,529	1,725	1,725
	(A) 事業費計	千円	1,698	1,273	1,975	1,529	1,725	1,725	1,725
	(A)のうち指定経費	千円							
	(A)のうち時間外、特勤	千円				0	0	0	0
	人件 費	正規職員従事人数	人	4	2	2	3	2	2
延べ業務時間		時間	500	500	500	615	500	500	500
(B)人件費計		千円	1,985	2,000	1,990	2,448	1,990	1,990	1,990
トータルコスト(A)+(B)		千円	3,683	3,273	3,965	3,977	3,715	3,715	3,715

総トータルコスト 全体計画 ～ 年度
(期間限定複数年度のみ記載)
0
0
0

谷志市

事務事業名	文化祭参画事業	所属部	教育委員会事務局	所属課	生涯学習課
-------	---------	-----	----------	-----	-------

2 評価の部 (SEE)

*原則は21年度の後評価、ただし複数年度事業は21年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①21年度目標達成度評価 事務事業の前年度実績は前年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input type="checkbox"/> 達成した	<input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 ↷
	文化協会会員の高齢化などにより加入団体が減少しているため。		
有効性評価	②22年度目標達成見込み 事務事業の本年度目標値に対して本年度の見込みはついているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 ↷
	会員を募集し加入団体を増やす予定。		
効率性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ↷
	文化協会をPRし加入団体を増やす。文化協会に加盟するメリットを協会で検討する。		
公平性評価	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 ↷
	類似するものが無く、他目的な行事と組み合わせると、規模が増大し、本来の目的が達成し難い。		
役割分担評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷
	会場設営費が主な経費であるが、市の備品も併用し会員による設置も行なっている。削減余地はない。		
役割分担評価	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷
	文化協会の組織再編等により、自立的活動が確立すれば、業務時間の軽減は可能となる。		
役割分担評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ↷
	文化協会への加入は、自由に出来ることや、全市民を対象に実施している。		
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事務事業のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行出来ないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 ↷
	当日の運営や、加盟団体との連絡調整は協会で行なわれており妥当である。		

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

21年度から文化協会の事務局長が新たに設置され、市との連絡調整等がスムーズに行なわれるようになった。会員が減少傾向にあるため、会員増に努めなければならない。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可

- 廃止 休止 目的再設定 事業統廃合・連携 事業のやり方改善(有効性改善)
 事業のやり方改善(効率性改善) 事業のやり方改善(公平性改善)
 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)

展示部門は参加団体が増えていることもあり、会場設営には工夫が必要。20年度は大幅な削減のため大変苦慮した。

(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上		○	
	維持			
	低下			

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

高齢者の参加が多いため、会場までの移動手段の確保を考えなければならない。